

“あそび”ってむずかしい！？

先日、お子さまをお預かりしたときのこと。何度か保育を利用してくださっているお子さまでしたが、その日は他のお子さまが先に保育室にいたことで、中に入るのを少しためらっていました。保育士が手を取ると、入り口までは入れましたがそこでまた立ち止まりました。少ししてから「何して遊ぶか一緒に見に行く？」とたずねると、小さくうなずきました。手をつないで、ぐる~っと保育室を歩くと、プリンセスのお城のおもちゃの前でその子が立ち止まり手を伸ばしました。それをきっかけに遊びはじめ、最後の方は保育士そっちのけで先に遊んでいた子に困ったときは助けてもらったり、おもちゃをとってきてもらったりしていました。その姿を見て、“初めてここの保育室に来て、「さあ、あそびましょう！」と言われたら、私は何をしてあそぶだろう…”と、ふと思ったのです。皆さんなら、どうしますか…？保育士として、お子さまが楽しく、自然に遊びに入っていけるよう遊びの環境を整えることは得意だと思っていますが、「遊んで待ってましょう！」と言われたら、一人で遊べるでしょうか…。その時、あそびのって実は難しいのでは…と思ったのです。



あそびのかくとく



身体的・精神的な発達段階があるのと同様、あそびにも発達段階があるといわれています。

1. ふれあいあそび

～世話をしてくれる人との関わりの中で育まれる遊び～

例) ベビーマッサージ・手を握る・話しかける

2. 感覚あそび

～目で見たり、耳で聞いたり、平衡感覚を刺激する遊び～

例) ガラガラ・たかいたかい・メリーゴーランド

3. 模倣あそび

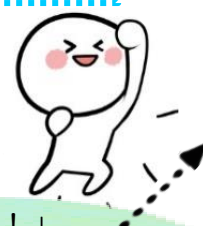
～養育者の真似をして遊ぶ～ 例) なりきりあそび（ヒーロー・先生）・積み木を電話に見立てる

4. ごっこあそび

～1対2・3人でする遊び～ 例) お店屋さんごっこ・ママごとあそび

5. ルールあそび

～集団で行うルールのある遊び～ 例) かくれんぼ・おにごっこ・すごろく



お子さまをお預かりしているときに、「面白い!」「そうやって表現するんだ!」「頭の中には無限のイメージがあるんだなあ」など、感心させられたお子さまのあそびをご紹介します♪

レゴで雪かき



ココの白いブロック…何かと思ったら、雪かきした後の雪でした！台にくっつけた白いブロックを雪に見立てて、スコップで掘り出して遊んでいました♪（4歳男児）

ピタゴラスイッチ



ペットボトルの玉落とし。玉が転がりにくいからと、紙コップとビニール袋、モールを使って玉が通る道を作って遊んでいました♪

（6歳男児）

オリジナルオセロ



一見、遊び方違うよ…と思いがちですが、端からパンダを並べていくというオリジナルのルールで楽しんで遊んでいました。（3歳女児）

節分の製作遊びで、見本は……ですが、用意してあるパーツを駆使して自分の思い描くオニを作り出していました♪

（4歳女児・5歳男児）



工作



あそびの意味って…？

「あそび」という言葉について調べると、《何物にもとらわれない、主体的で自由な心の在り方》や《人間が生活上・生存上に必要かどうかにかかわらず、心を満足させることを主として行うもの》とあります。また、機械を組み立てるときなど、一部分に強い力がかかるのを防ぎ、スムーズに機械が動くよう結合部分にゆとりを持たせることを『あそびをもたせる』ともいいます。あそびはまさに『ゆとり』であり、ものごとがスムーズにすすむための『余裕』であるように思います。

頭を使って、手を使って、道具を使って、時には友だちと協力して、体を使って、あそびことってこんなにも考えることが多いんだ…！と子どもたちの姿に驚かされますし、今しかできない経験を遊びの中で積んでいる子どもたちの姿に、大人も心の『あそび』を持ちたいと思う今日この頃です。

